

関東ブロック茶共進会で最高賞を受けた
JAハイナン青壮年部榛原支部長

羽柴 はしば

秀一さん しゅういち

(牧之原市)

40人の支部員をまとめ まさか受賞できると思って うれしい

る。関東ブロック茶の共進 かなかつた。約8年前から ー出品した荒茶でこたわ

会には各支部員から1人4 受賞を目指していたので、 った点は。

努力が実を結んだ。各支部 茶園を巡回

になって、とても して、茶 子を丁寧

造の陣頭指揮を執った。4

月から現職。36歳。

ー受賞の感想は。

「電話で受賞の連絡を受

けた時は、『冗談だろ』と

った。手応えはあったが、



観察した。それぞれが持ち 寄った芽の長さがそろつよ う、摘採時期を指示した。 摘採の日は、平年より平均 気温が3度ほど低く、大麥 だった」

ー今後の目標は。

「各支部員が持ち寄る荒 茶はまだばらつきがある。 皆で協力して全国茶品評会

でも、最高位の農林水産大 臣賞を取れるよう頑張つて いきたい」



両親も茶農家で、就農は 21歳ごろ。推理小説を愛 読する。休日の楽しみは 2歳の長男と遊ぶこと。

